

●演習ワークシート

事例 1

症例：65 歳，男性

2 型糖尿病。BMI 23kg/m²。40 歳のころから健診で高血糖を指摘されていたが放置していた。45 歳で HbA1c 8.0%となり，妻の強い勧めで糖尿病外来を受診しダオニール[®]（スルホニル尿素薬）による治療が開始された。HbA1c は徐々に低下し，コントロール良好であったが，2 年前より再度悪化したため，入院し血糖コントロールとなった。

来院時検査所見

HbA1c	空腹時血糖	血清 C ペプチド
8.2%	155mg/dL	0.7ng/mL

肝機能・腎機能に異常なし。

合併症：単純性網膜症，腎症第 2 期，神経障害なし

入院後，経口血糖降下薬（ダオニール[®]）を中止し，強化インスリン療法を開始した。

現在，ヒューマログ[®]を朝食直前 10 単位，昼食直前 6 単位，夕食直前 8 単位に加え，ランタス XR[®]を眠前に 4 単位注射している。

最近 3 日間の血糖の推移は下記のとおりである。

	朝食前	朝食後	昼食前	昼食後	夕食前	夕食後	眠前
①	156		178		160		190
②	160		180		164		200
③	162		178		162		220

演習課題 1

十分な血糖コントロールに向けて，必要な介入を検討してください。

●演習ワークシート

事例 2 (事例 1 続き)

入院後、経口血糖降下薬（ダオニール[®]）を中止し、強化インスリン療法を開始した。現在、ヒューマログ[®]を朝食直前 6 単位、昼食直前 4 単位、夕食直前 2 単位に加え、ランタス XR[®]を眠前に 8 単位注射している。最近 3 日間の血糖の推移は下記のとおりである。

	朝食前	朝食後	昼食前	昼食後	夕食前	夕食後	眠前
①	172		130		120		200
②	180		150		130		196
③	178		160		128		220

演習課題 2

合併症の発生予防を目標とした血糖値管理を行うため、必要な介入を検討してください。

事例 3 (事例 1 続き)

入院後、経口血糖降下薬（ダオニール[®]）を中止し、強化インスリン療法を開始した。現在、ヒューマログ[®]を朝食直前 10 単位、昼食直前 2 単位、夕食直前 6 単位に加え、ランタス XR[®]を眠前に 10 単位注射している。最近 3 日間の血糖の推移は下記のとおりである。

	朝食前	朝食後	昼食前	昼食後	夕食前	夕食後	眠前
①	130		128		160		182
②	126		124		170		196
③	128		122		180		220

演習課題 3

合併症の発生予防を目標とした血糖値管理を行うため、必要な介入を検討してください。